



矢中だより

第20号

令和8年9月16日
由利本荘市立矢島中学校

災害に備える～市総合防災訓練～

9月5日（土）、矢島地域にて市の総合防災訓練が行われました。生徒たちは地震発生時の避難訓練から始まり、火災防御訓練の見学、避難所開設（受付や段ボールベッド・テントの組み立て）、さらには防災士の方による講話まで、一つひとつの訓練に真剣な表情で向き合っていました。



最近では、熊本の地震をはじめ、日本の広範囲での大雨による浸水、そしてネパールの大規模な土石流など、国内外を問わず大きな災害が報道されております。

自然災害はいつ私たちの身に降りかかるかわかりません。いざという時に自分や大切な人の命を守れるよう、日頃からの備えと防災意識・知識の向上に今後とも取り組んでまいります。

地震二次避難



建物火災防御訓練見学



避難所開設（受付）



避難所開設（テント組立）



避難所開設（段ボールベッド組立）



防災講話



生徒の「活動振り返り」より

- 由利本荘市で起こった過去の災害の話を聞いて、ここも安全ではないんだなと感じました。本当に起こったときは素早い行動を心がけたいです。（男子）
- 段ボールベッドやテントをグループのみんなと力を合わせて組み立てることができました。しっかりやり方を覚えることができたので、もしこういう場面になったら、率先して動きたいと思いました。（女子）

ようこそ由利本荘市へ～いわき市教職員来校～

先週から、福島県いわき市の先生方3名が、秋田県の教育環境や指導方法などを学ぶため、由利本荘市に滞在し、矢島中学校を拠点に18日まで研修を行っています。

初日の顔合わせでは、本校伝統の「修錬の刻」や「矢島剣道型」を披露しました。その後、先生方には木刀による新聞紙切りに挑戦していただき、生徒と手ぬぐいを使った「反射神経勝負」で交流を深めました。

期間中は、矢島小・矢島高の授業参観や市内小・中学校の視察を行うほか、今週は実際に授業も担当していただきました。

今回の交流研修を通して、由利本荘市といわき市の教職員が互いに学び合い、その成果を今後の教育実践に生かしていきたいと考えています。



新聞紙切りに挑戦



反射神経勝負

校舎に響く元気なあいさつ～第2回小中高合同あいさつ運動～

9月11日（金）の朝、PTA校外指導部、少年保護育成委員会矢島支部、矢島幹部交番の皆様のご協力のもと、今年度2回目の合同あいさつ運動を実施しました。玄関前で、登校してきた生徒一人一人と大きな声であいさつを交わし、さわやかな朝のひとときとなりました。

地域や関係団体の皆様が見守ってくださることで、生徒たちは安心して学校生活を送ることができています。あいさつ運動を通して、相手を思いやる気持ちや地域とのつながりの大切さを改めて感じる機会となりました。



矢中祭に向けて合唱練習をはじめています

10月3日（土）に開催予定の矢中祭で披露する全校合唱に向けて、先週から朝に練習をはじめました。3年生が先頭となり、ソプラノ、アルト、テノールの各パートに分かれ頑張っております。本番の合唱をお楽しみに。

